

## 【第2回映像機材のグループディスカッション】

2014年6月5日 場所:株式会社エムシーコミュニケーションズ 会議室



今年度より新企画となる(最新機材を触ってレポートする)グループディスカッション。

第2弾となる今回は、業務用AVCHDハンディカムコーダの定番ともなっているNX5Jを触って見た。

参加者は、井上、岩波、勝村、武藤、平田の5名。

最初に概要をお伝えしよう。

HXR-NX5J(定価¥580,000+税)基本撮影時重量(2.6Kg)NP-F770・レンズカバー付きフード・マイク[ECM-XM1]含む。

発売が2010年1月、今となっては、少し前の設計となっているが、業務用AVC-HDハンディカムコーダの定番的位置づけになり、現在も重要なラインナップとなっている。

20倍(35mm換算、広角側 28mm)のズームレンズ、1/3インチ3CMOSの映像エンジンを搭載して、2枚のSDカードに24MのAVC-HD(1920-1080)をリレー記録または、128Gのフラッシュメモリーユニットに同時記録できる。

記録フォーマットは、図の通り。(図1)

記録の振り分けは図の通り。(図2)

また、通常のRECボタンとハンドル部RECボタンで、SDカードとフラッシュメモリーユニットにREC先を同時にRECしたり、切り分けたりも出来る。

最近のハンディカムと比べると、さすがに液晶モニターのサイズと解像度は気になるが、ヘッドフォン端子のL・R・ステレオのモニターセレクトがあり、ステレオ時には、Mixとモノラルが選べるなど、ショルダーカム譲りの機能も多数移植されている。ハンディカムには、必須の手振れ補正も、ソフト・ノーマル・ハードの3種類と画質は悪くなるが、さらに補正するACT(アクティブモード)の4種類も装備されている点は逆に最近には見られない。拡張性についてもSDI・HDMI・コンポーネント・ビデオ/オーディオOUT・USBがついており、プロ使用を意識した作りは当初から変わらない。TCリンクもピンケーブルを繋ぐことにより、可能である。もちろん、オーディオ関係もプロ使用を前提にした2chのXLR入力で、それぞれ外部入力と内臓マイクの切り替えが可能である。

実際に撮影しながら、撮影時の基本的なレクチャーをしながら、皆さんの感想を聞いた。

■岩波:現在、このモデルの2世代前のHDV民生機FX-1000を使っているが、テープ駆動部を取り払っているはずなのに大きさ、重さがあまり変わらないのは不思議だ。もう一回り、二回り小さいと良いのと思う。筐体を新設計すれば金型も新しくする必要があり、コスト的に筐体を大幅に変えるのは難しいのかもしれない。

三脚に載せることを前提に考えれば、使い勝手の良いカメラである。画質も充分綺麗だ。レンズも広角から望遠まで普通の撮影シーンでは不足はない。

■武藤:このカメラは、設定画面の見た目が分かりやすいつくりになっておりイメージしやすいという点が、とても助かると感じました。機能に関しては、手ぶれ補正に段階があることは驚きでした。ただ一番強力な設定にしてみると、画質が荒れてしまうのが難点です。一番感心したことは、デュアルスロットに装着した記録媒体と、フラッシュメモリーユニットへ同時に記録できるだけでなく、一方にHD、もう一方をSDといった異なる解像度での収録も行える点は、例えばバックアップ記録が同時にできる安心感や、様々なシチュエーションに応じて使い勝手が良いです。ただ、液晶モニターが小さいことが気になります。今後、新しい機種に期待することは、ユーザーインターフェイスの充実です。

例えばカメラについている設定画面は文字だけなので、Wi-Fi機能を内蔵し、PCや、スマートフォン、タブレット等でビジュアル的に細かいセッティングができるようになれば、現場では少々の調整で済み素早い対応ができるようになると思います。それに加え、モニタリングができるといった機能が充実してくると良いと思います。

■平田:映像という分野に係るようになってから約3か月。撮影の基本すらもわからない素人ですが、今回の勉強会に参加させて頂きました。当日は事情により途中参加でしたが、30分という短時間の中でレクチャーを行っていただきました。

普段の業務で使用することの多い機材を実際に動かしながら、音声録音の方法やマニュアルフォーカスでの撮影方法など、業務中に疑問に感じていたところを丁寧にレクチャーして頂きました。

勉強会は少人数制で行われており、質問しやすい環境です。講師の方はその人に合ったレベル別でフォローをしてくださるので、初心者の方にとっても大変有意義な会でした。

この製品がデビューしてから、かなりの年月が経ち、そろそろ新しい製品が登場するはずである。色々なレベルでの感想を頂きました。